

山形の未来を創る

よう とも いく
幼 児 共 育



© つちだよしはる

山形県では、「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して
幼児期の子どもを育むことを『**幼児共育**』とよんでいます。



問
い
合
わ
せ
先

山形県教育庁生涯教育・学習振興課

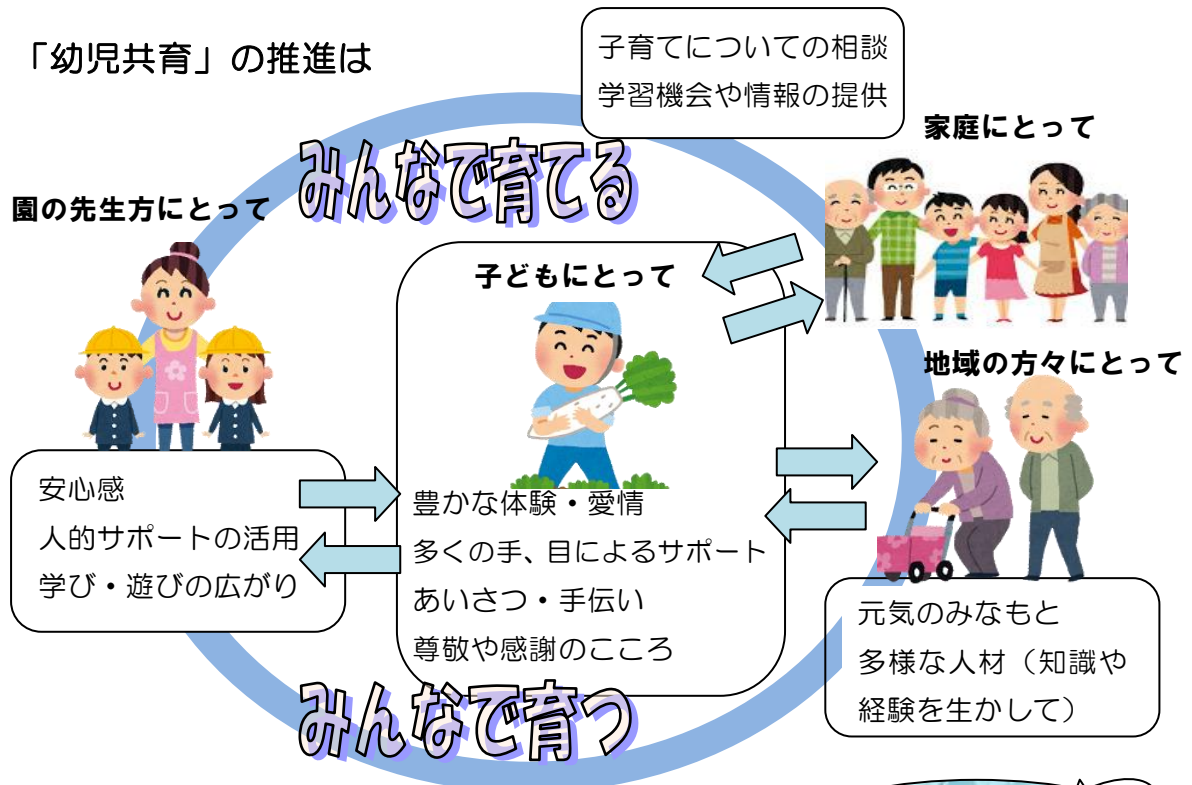
〒990-8570 山形市松波 2-8-1

TEL023-630-2872 FAX023-630-2874

みんなで育てよう！地域の宝

1 「幼児共育」について

山形県では、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上できわめて重要な時期である**幼児期の子ども**を「**家庭**」「**幼稚園・保育所等**」「**地域**」が連携して育てることを、『**幼児共育（ようじともいく）**』と提唱し、推進しています。



2 各園における活動と「幼児共育」・・・家庭や地域とともに

- 人とのかかわり
- モノとのかかわり
- 自然とのかかわり

環境

想像力を育む

思い切り「体験活動」
や「遊び」を！

アウトメディア

3 「幼児共育ふれあい広場」

令和元年度実績… 県内 141か所
置賜 30か所

幼児期の家庭教育の充実を図るために、幼稚園や保育所等において、人やモノ、自然とのかかわりを重視した親子の体験活動を実施しています。

山形県が目指す幼児期の子ども像

自然の中で遊ぶことが大好きで、人やモノにかかわり、
何事にもすすんで取り組む子ども

実践の指針

- 1 自分からやってみようとする子ども
- 2 人とかかわる力をもつ子ども
- 3 基本的な生活習慣を身につけた子ども
- 4 豊かでていねいな言葉を話す子ども
- 5 自然の中で遊ぶ子ども

「三者」の連携

家庭

幼稚園・保育所

地域

山形県では、「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して幼児期の子どもを育むことを「幼児共育」とよぶ。